

地域の皆さまとともに ～地域経済活性化への取り組み～

地方創生への取り組みについて

●地方創生への取り組み事例

◆太良町との取り組み

PPP/PFI事業への参加



PPP(パブリックプライベートパートナーシップ)
官民連携
自治体の財政負担軽減
地元企業の事業機会創出に繋がる
(TSUTAYA様が運営する武雄市立図書館 等)
PFI(プライベート・ファイナンス・イニシアティブ)
民間資金活用による社会資本整備

太良町定住促進住宅PFI事業

- ・平成29年 太良町と太良町駅前定住促進株式会社が事業締結
- ・平成30年4月1日より施設共用がスタート。
町外から全40戸満室、16世帯が町外から転入
- ・子供の数 50人以上増加。



子育て世代を中心とした太良町の定住人口の増加に貢献

当行では、地元企業とも連携し、PPP(官民連携)／PFI(民間資金活用による社会資本整備)の活用を各自体に提案することで、地域の活性化に貢献しております。
平成29年2月、太良町は「定住促進住宅事業」をPFI方式で公募し、「太良町駅前定住促進株式会社(地元建設会社等の出資により新たに設立された会社)」と、太良町とで同施設的设计・建設・維持管理に係る約30年間の事業契約を締結し、同年7月に、太良町とも連携してこの事業に対する金融面での支援を実施しました。
施設整備完了後、平成30年4月1日より施設共用がスタートし、全40戸満室、16世帯が町外から転入され、子どもの数も50人以上増加し、子育て世代を中心とした太良町の定住人口の増加につながっております。

◆肥前さが幕末維新博覧会 サポーター宣言

平成30年3月17日から平成31年1月14日の期間で「肥前さが幕末維新博覧会」(以下、「維新会」)が開催されています。当行は、維新博の「佐賀への愛着・誇りの醸成と地域づくりに資する」という目的、事業コンセプトに賛同し、地元銀行として「サポーター宣言」を行っています。

当行行員は、維新博開催期間中は維新博名刺、ピンバッジ・カンバッジの携行や、デジタルサイネージでのPR映像放映などにより維新博を盛り上げています。

[名刺]



[ピンバッッチ]



[カンバッッチ]



◆C&Saga Dining Co.,Ltd(シーアンドサガダイニング)への投資支援について

当行は子会社の株式会社横佐銀キャピタル&コンサルティングと共同設立した「佐銀ベンチャーキャピタル投資事業有限責任組合第三号」を通して、C&SagaDiningCo., Ltd様への投資を行ないました。

C&SagaDiningCo., Ltd様の概要

C&SagaDiningCo., Ltd様は香港に所在地を置く、飲食店運営、佐賀県産品販売、佐賀県情報発信を事業として行なう企業で、平成30年4月にランドオープンした「炙り焼きと佐賀蔵酒〜「佐楽」」を運営されています。
「佐楽」は、香港の中心街「タイムズスクエア」近くに位置し、佐賀県産食材に特化した「佐賀を感じて楽しむレストラン」です。「佐賀牛」「みつせ鶏」などの他、佐賀県が誇る県内ほとんどの蔵元の日本酒も用意しています。これらを、「佐楽」が特別に発注した有田焼の器で楽しんでいただくコンセプトです。



- 「佐楽」のロゴマークについて
- ◆外枠の丸は有田焼の器を表現。
 - ◆内側の丸と棒は焼物(肉や魚を串に刺し焼いている様子/炙り焼き)を表現。
 - ◆中心の十字と四つの丸で米(酒造りに欠かせない米)を表現。
 - ◆中心の十字の赤色は佐賀銀行をイメージしたカラーを表現。
 - ◆緑色は佐賀県カラーの緑を表現。

●金融仲介機能のベンチマーク公表について

「金融仲介機能のベンチマーク」とは

金融庁が、平成28年9月、金融機関における金融仲介機能の発揮状況を客観的に評価する多様な指標として策定、公表したものです。

当行は、平成30年7月に、平成29年度におけるベンチマークの実績を公表するとともに、当行の最重要施策として取り組んでいる「事業性評価の取り組み」や「地方創生に向けた取り組み」などについて、当行の考え方や事例等も合わせてご紹介しております。

【公表ベンチマーク(H30年3月基準)】※抜粋

| (単位:社、%) | 28/3 | 29/3 | 30/3 |
|--------------------|-------|-------|-------|
| メイン取引(融資残高1位)先数の獲得 | 5,222 | 5,334 | 5,730 |
| 全取引先数に占める割合 | 38.8% | 38.0% | 39.0% |

| (単位:社、億円) | 全与借先 | 前年同期 | 成長率 | 安定期 | 低送期 | 再生期 |
|----------------------------|--------|------|-------|--------|-----|-----|
| ライフステージ別の与借先数 | 14,686 | 872 | 1,400 | 11,428 | 263 | 723 |
| ライフステージ別の与借先に係る事業生年度末の融資残高 | 9,859 | 469 | 1,469 | 7,200 | 230 | 491 |

| (単位:先数、%) | 全取引先数① | 本業支援先数② | ②/① |
|------------------------------|--------|---------|------|
| 本業(企業債の向上)支援先数、及び全取引先数に占める割合 | 13,321 | 697 | 5.2% |

| (単位:社) | 28/3 | 29/3 | 30/3 |
|---------------------|------|------|------|
| 本業支援のうち、経営改善がみられた先数 | 317 | 424 | 480 |

(当行ホームページの「さぎんについて」の金融仲介機能の発揮をご確認ください)



地域の皆さまとともに ～地域経済活性化への取り組み～

●お客さまのビジネスを強かにサポート

当行はビジネスパートナーとして、販路拡大等のご支援、各種商談会の企画・開催を行うことによりお客さまの付加価値を高め、地域全体の活性化に繋がる取り組みを進めています。

ビジネスマッチング

BUSINESS MATCHING

平成29年9月より、5回にわたり、フードセレクションへの勉強会を開催しました。



地方銀行フードセレクション2017

平成29年11月に全国地方銀行55行合同で、国内最大級の「食」の商談会「地方銀行フードセレクション2017」を開催しました。

コーディネーターとして 企業を紹介

首都圏を中心に全国から、
12,000人を超えるバイヤーが来場!!



ニーズの
共有を
手助け

企業同士を繋げる。 化学反応を起こす手助け

参加数: 53社 (41ブース)
2年連続で全国No1の参加数 (参加55行中)



全国のバイヤーにPR 出展者、自治体、銀行がマッチングを手助けします。

アフターフォロー等の勉強会

フードセレクション終了後、3回にわたり商談アフターフォロー等の勉強会を開催し、フードセレクション前後で延べ167名の方にご参加いただきました。



地方銀行 フードセレクション 2018

平成30年
10月23・24日に開催!

●香港FOOD EXPO2017

平成29年度は、8月にアジアで最大規模の食品展示・商談会である「香港FOOD EXPO2017」に、佐賀県、さが県産品流通デザイン公社さまと共催で視察・商談ミッションを派遣し、「佐賀県ブース」の設置や現地視察・商談を行い食品関連企業さまの海外販路拡大をお手伝いしました。



●商談会・セミナーの開催について

佐賀銀行では、さまざまなセミナーや商談会・相談会を定期的で開催しております。

●「ホテル・レストラン向けの商談会 (北部九州ビジネスマッチング)」の開催



●「知財ビジネスマッチング セミナーさが2017」の開催



●「平成29年度 第1回 佐賀県 受発注商談会」の開催



●台湾商談・視察ミッション 平成30年2月4日(日)～8日(木)

平成30年2月にアジア最大のIT産業集積地である台湾への「台湾商談・視察ミッション」を佐賀県、佐賀県商工会議所連合会、佐賀県工業連合会、佐賀県貿易協会、ジェトロ佐賀貿易情報センターさまと共催で派遣し、製造業のお客さまの海外取引実現に向けたお手伝いを致しました。また、同時期に佐賀県が開催した「佐賀県台湾プロモーション」にも参加し、佐賀県のPRのお手伝いを致しました。

